



日本ユネスコ協会連盟松田昌士会長の御講演

6月28日、大阪大学中之島センタ
ーにおいて、第1回となる大阪府ユネス
コ連絡協議会総会が開催されました。
大阪ユネスコ協会、エリーニ・ユネスコ協
会、眞面ユネスコ協会設立！

大阪府ユネスコ連絡協議会総会

エリーニ
ニュースレター vol.9

9号 (平成27年) 2015.12月 発行



大阪市中央区備後町3-6-2KFセンタービル Tel.06-6264-4455

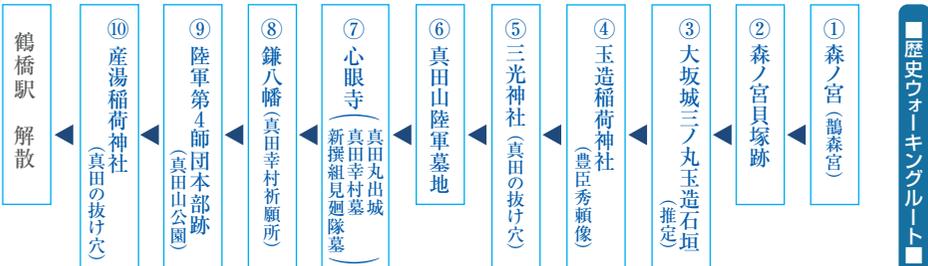


ルートマップ
↓



第16回なにわ上町台地歴史ウォーキング
「豊臣大坂城の城下と 真田幸村を歩く」
■開催日時 平成27年5月24日(日)
10時30分~15時
■講師 西田孝司先生

本年は、豊臣方と徳川方が大坂城の攻防をめぐって戦った大坂の陣から400年になります。豊臣秀吉は大坂城を築くとともに、北は大川、南は長堀通(空堀通)、東は現環状線(旧猫間川)、西は東横堀川・松屋町通に囲まれた城下、つまり総構(そうがま)をつくりました。
また、豊臣秀頼や淀君を守った真田幸村は、空堀の地で真田丸の出城を築き戦いました。
今回は、総構の東、南側の史跡を中心にウォーキングし、大坂の陣400年をたどりまします。



エリーニ・ユネスコ協会とは・・・

1994年12月・・・創立
1995年 2月・・・日本ユネスコ協会連盟から承認
エリーニ・ユネスコ協会は、日本ユネスコ協会連盟に加盟する大阪で、
たは大阪出身の人が活動している団体です。
大阪の上町台地が日本で最も古くから開けた町であることに着目し、
上町台地をユネスコ世界遺産に！と歴史シンポジウムや歴史ウォーク
を開催し、地域遺産「私のまちのたからもの展」を開催するなど上町台
地を世界に発信することを目指しています。
また、ユネスコの理念に基づいたパイロット校(ユネスコ・スクールの)
加盟を進め、U's(青年部)はユネスコ・スクールの卒業生たちを中心

エリーニとはギリシャ語で「平和」を意味します。

として、学校や地域社会とコーディネートしながら進め、子どもたちが地
域の良さに気付き、誇りをもつことのできるよう「地域から発信する」活
動を展開しています。

- 年会費
- 個人会員・・・6,000円
 - 家族会員・・・6,000円(個人会員のご家族のみ)
 - 維持会員(法人会員)・・・12,000円(一口)

*例会や各種イベントは「会員による自由意志参加」を原則としており、拘束はありません。

まずは知ることから
(申込の流れ)

STEP 1
興味を持った
事務局までお電話を

STEP 2
例会や行事に1日会員として
参加をしてみる

STEP 3
入会を申し込む
(事務局宛に申込書を送付)

成果あげたエリーニ・ユ協の7年間の
ESD・ユネスコスクールの取り組み

エリーニユネスコ協会 教育プロジェクト委員会 報告

2009年より開始された「ESD100年」は、2014年のユネスコESD国際会議で終了、ESDは2015年より第2ステージ入りしました。その中心になるのが国際会議で採択されたGAP(グローバルアクションプログラム)です。そのポイントの一つはESDの視点に立った地域づくりです。そのためにはESD活動に取り組むユネスコ協会をはじめ様々な地域の団体・組織がネットワークして取り組むこと、二つは若い世代のESDへの参加です。それゆえこれからユ協のESD活動は今後ますます重要性と責任を帯びてくることになるでしょう。

ところで、わが国の「ESD100年」は、ESDの普及の拠点として位置付けたユネスコスクール(US)の普及に力を入れてきました。エリーニ・ユ協でも早速2008年より全国のユ協に先駆けて大阪府内のUSの普及に取り組み、2014年まで6回にわたって「ESD・USセミナー」を実施してきました。現在、わが国のUSは939に達発展してきましたが、大阪のUSは45校です。日本ユネスコ協会連盟ではUSの普及と共に、ユネスコ協会とUSをつなぐべく役割を担った「ESDサポート」プロジェクトを2013年から実施、エリーニ・ユ協も全国のユ協に先駆けて大阪



ESDサポート実践発表会での表彰の様子



府内12の高校USを対象に進めてきました。これは、高校生ボランティア活動をUS各校のESD実践に位置づけるというユニークな取り組みです。今年度からは、今までのエリーニ・ユ協が主管として取り組んできた「セミナー」「ESDサポート」を大阪府全域の活動として更に発展させるために、その主管を今年6月に発足をみた大阪府ユネスコ連絡協議会に移すことになりました。無論、エリーニ・ユ協のリードが期待されていることは言うまでもありません。
今年12月26日には「ESDパスポート」の高校生ボランティア活動発表会・ワークショップが、大阪国際交流センターでのワールド・ラ・エスティバで予定されています。(米田伸次)



ユネスコ(UNESCO 国際連合教育科学文化機関)は1945年11月に第二次世界大戦の反省の上に立って、ユネスコの理念「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。=UNESCO憲章前文より」に基づきUNESCOのEducation(教育)の教育支援(ユネスコ寺子屋運動)、Science(科学)の平和利用、Culture(文化)世界遺産・地域遺産活動など、教育と科学と文化の分野で仲良くしていこう!世界を平和にしていこう!ということを目指している国連の機関です。

ESDとは、現代社会の課題を自らの問題としてとらえ、身近なところから取り組む(think globally, act locally)ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育です。

Think globally, Act locally

エリーニ・ユネスコ★エコプロジェクト ペットボトルキャップ回収累積

(平成27年12月現在)
1,492,141 個

この数は、ワクチン:1,865人分、削減CO₂:11,750kgになり、たくさんの子どもの命や地球環境保護に大きな貢献となっています。



*ペットボトルキャップ800個でワクチン1人分です。
ペットボトルキャップ回収に関するお問い合わせ
(エリーニ・ユネスコ本部事務局 Tel:06-6264-4455)

2015 エリーニ・ユネスコ協会活動報告



1/4 **食で味る世界2**
ESD木村式自然栽培に学ぶ!

大阪府木村式自然栽培実行委員会・木村秋則(あべのハルカス近鉄本店9Fキッチンスタジオ)と共催。「自然の尊重」という日本人の精神に基づいて登録されている和食・日本人の伝統的な食文化。「奇跡のりんご」でおなじみの木村秋則さんがすすめてくれた木村式自然栽培でつくられたお米や新鮮な野菜を調理しました。味わうと自然栽培の良さを実感。食生活が健康や環境に与える影響などを学びました。



2/7 **2/8** **ワン・ワールド・フェスティバル**
ユネスコ・ユース・ネットで参加!

ワン・ワールド・フェスティバルとは、世界につながる国際協力のお祭りです。多様な国際系の団体が出会い、学び合う場所となっています。活動紹介ブース(北区民ホール)・ユネスコ・スクールESDバスポート実践発表会&ワークショップ(関西テレビなんでもアリーナ)



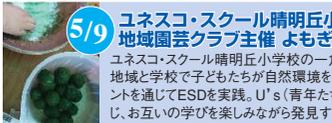
3/14 **3/15** **第3回U-TED (UNESCO Technology Entertainment Design)**

U-TEDとは、2012年にユネスコ協会に所属する青年自らが立ち上げた、全国的な青年ユネスコ活動です。全国から青年たちが大阪に集結! 平和、国際協力、環境、キャリア教育の4つの分科会にわかれワークショップ、議論、発表を行いました。



2/21 **2/22** **幻の特攻隊基地**
万世スタディーツアー

万世特攻平和祈念館で館長さんから直接の説明を受けたり、周田の戦艦を巡検したりできました。また、鹿児島ユネスコ協会の田中弘允会長のお話を伺うなど、得難い経験もできました。



5/9 **ユネスコ・スクール** 晴明丘小学校
地域園芸クラブ主催 よもぎだんごづくり

ユネスコ・スクール晴明丘小学校の一角にある自然観察学習園、地域と学校で子どもたちが自然環境を学ぶ場づくりを支援のイベントを通じてESDを実践。U's(青年たち)と子どもたちの交流を通じ、お互いの学びを楽しみながら発見する場となっています。

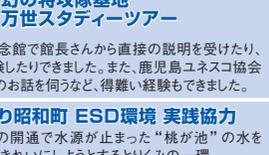


7/29 **8/26** **若者のユネスコ活動展**
ユネスコ協会青年部との連携を確認できました。

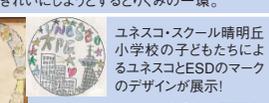


2/21 **2/22** **幻の特攻隊基地**
万世スタディーツアー

万世特攻平和祈念館で館長さんから直接の説明を受けたり、周田の戦艦を巡検したりできました。また、鹿児島ユネスコ協会の田中弘允会長のお話を伺うなど、得難い経験もできました。



2/29 **どつぶり昭和町 ESD環境実践協力**
地下鉄の開通で水源が止まった「桃が池」の水を「蓋」できれいにしようとする取り組みの一環。

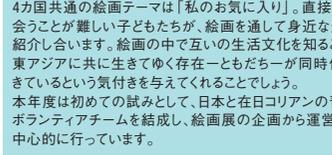


ユネスコ&ESDデザイン展示と
縁活弁パッチづくり
ユネスコ・スクール晴明丘小学校の子どもたちによるユネスコ&ESDのマークのデザインが展示!



11/13 **11/15** **南北コリアと日本のともだち展**
おおさか展

「21世紀を平和の世紀にしたい」という願いから2001年にスタートした絵画展「南北コリアと日本のともだち展」。大阪では2011年に実行委員会を立ち上げ、今年で5年目を迎えることとなりました。今年も「ともだち展」では、大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国、中華人民共和国、そして日本に住む子どもたちの絵をひとつの会場に展示し、絵で互いを紹介しながら、私たちの居住する東アジア地域の平和について考えます。



4カ国共通の絵画テーマは「私のお気に入り」。直接には出会うことが難しい子どもたちが、絵画を通して身近な生活を紹介します。絵画の中で互いの生活文化を知ること、東アジアに共に生きてゆく存在—ともだち—が同時代に生きているという気付きを与えてくれることによろ。本年度は初めての試みとして、日本と在日コリアンの青年がボランティアチームを結成し、絵画展の企画から運営までを中心的に行っています。



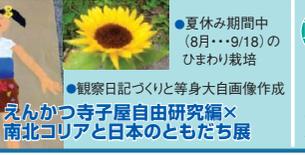
11/14 **子どもワークショップ歓迎会**
いろんな国籍の子どもたちと一緒に等身大自画像作成。その後阿倍野長屋にて韓国からのゲストを迎え歓迎会。



11/15 **韓国・日本・在日の若者との**
ギャラリートーク
韓国からの中学生ゲスト、第一回大阪展の韓国スタッフを迎え、ギャラリートークという企画が実現しました。



8/1 **8/9** **8/14** **えんかつ寺子屋自由研究編**
南北コリアと日本のともだち展



●夏休み期間中(8月・9月)のひまわり栽培
●観察日記づくりと等身大自画像作成
東アジアの子どもたちの平和教育活動のためのチャリティーイベント。なんでもバザー・古本市・おいしいもの

第14回なにわ歴史シンポジウム上町台地未来遺産フェスタ
《テーマ》大阪の陣と道頓堀開削400年

開催日 平成27年1月1日(日)
会場 大阪歴史博物館

■ 基調講演 内容 ■

「大阪の陣と摂河泉の動向」

大阪城天守閣館長 北側 央氏

1582年2月15日付のガスバル・コリユ「1581年度 日本年報」によると鳥帽子形の周辺の村々を含めて3人の領主が治めていた。このうち二人はキリシタンで、同著には300人のキリシタンがいた。またフロイスの「日本史」によると河内の国に鳥帽子形という城の周辺には三人の殿がいて管理されており、その中の裕福な殿が熱心に布教し、5百人のキリシタンをつくらせたという記事があった。

「道頓堀から淀君へ」

橋爪 節也氏

大阪を描いた絵画の中で汎用性が高いのが「摂津名所図会」と「浪花百景」である。「摂津名所図会」は名所は「などごと」と読み、観音や史蹟、行楽地など一般的な観光地を指すのに対して、「浪花百景」の「二天満天神地車宮入」は祭礼での地車の宮入というドラマチックな一瞬をとらえ、百景の中の一景としての性格がきわだっていた。また浪花百景には夏の陣で家康の本陣があった「茶臼山」「茶臼山雲水」と真田幸村終焉の地である

■ パネルディスカッション ■

時代ごとの変化がある。

江戸時代は徳川幕府の語が多かったが、大阪では豊臣幕府が近年になって多くなってきている。特に江戸前半は徳川が大阪城を建て、大阪商人を優遇し、まちを発展させていったので徳川を評価する人も多かった。しかし江戸の後半では、天皇をないがしろにして幕府が好き勝手な政治をしており、次第に反徳川の機運が出てきて、幕末には討幕の方向性が出てきたと考えられる。そのほかの議論として講談で出てくる内容と実録の違いが真田幸村の場合も多い。真田幸村の資料は大変少なく、それだけに脚色されたものが多いといえる。実際のところはよくわからない。

ユネスコ 世界寺子屋運動 戦争や貧困など、さまざまな理由で教育の機会に恵まれない人たちのために 学びの場=寺子屋 を世界に広げていく草の根運動です。

寺子屋リーフレット制作プロジェクト

このプロジェクトは、日本国内の小・中・高校を対象に子どもたちが世界に目を向け、自分自身で考え、そして自発的に行動することを目的に、コンピュータのソフトを利用してリーフレットを制作する過程を通じ、「ユネスコ世界寺子屋運動」を学び、運動を支援するプロジェクトです。ユネスコ世界寺子屋運動への支援を通して出会った人やもの関わりを持つ中で、情報教育、国際理解、

最優秀作品/ユネスコスクール羽衣学園高等学校

平和教育、人権教育などを推進し、総合的な学習の時間がめざす、自ら学び自ら考える力など全人格的な生きる力の育成を図ります。また、世界寺子屋運動をより多くの皆さんに理解してもらうための効果的なリーフレットの語句やデザインを考え、より分かりやすく印象的に伝える方法を学び、情報活用能力を育成します。ぜひ皆様協力ください。(米田謙三)

